

| | | | | | |
|--------|-----------|-----|------|---------|-----|
| 教科(科目) | 美術 | 総時数 | 45時間 | 学年(コース) | 1学年 |
| 使用教科書 | 美術1(光村図書) | | | | |
| 副教材等 | 秀学社『美術資料』 | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|---|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p> |
| カリキュラム・ポリシー | <p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p> |

2 学習の目標

| |
|---|
| <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p> |
|---|

3 指導の重点

| |
|---|
| <p>①観察して描く時の要点を身につけさせる。</p> <p>②アイデアをまとめ、形にする過程を学ばせる。</p> <p>③色彩の理論を知る。</p> |
|---|

4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り込む態度 |
|--|---|---|
| <p>・基礎的な材料、道具の扱いができる。</p> <p>・形、色など造形要素を的確に観察している。</p> <p>・色彩の理論を理解している。</p> | <p>観察力と画材の扱いを結び付け、形にすることができている。</p> <p>制作にあたって、自分のアイデアを出し、材料の特性を考えて作っている。</p> | <p>描く対象のものに向き合い、丁寧に見ようとしている。</p> <p>制作のテーマを理解し、向き合っている。</p> |

5 評価方法

| | | | |
|------|---|--|--|
| | 評価は次の観点から行います。 | | |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り込む態度 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 ・小テスト などから、総合的に評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 ・小テスト などから、総合的に評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 ・小テスト などから、総合的に評価します。 |
| | 内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。 | | |

6 学習計画

| 月 | 単元名 | 教材 | 学習内容(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|----|---------------|-------------------|--|----|------|
| 4 | 観察して描く | スケッチブック、鉛筆 | 鉛筆の削り方、使い方 手のデッサン | 3 | 作品提出 |
| 5 | 観察して描く | 水彩絵の具 | 水彩絵の具の使い方、三原色の混色。 | 4 | 作品提出 |
| 6 | 観察して描く | 水彩絵の具 | 水彩絵の具で植物を描く。 水彩絵の具で好きなものを描く。 | 6 | 作品提出 |
| 7 | 色の冒険 | 水彩絵の具 | 色を使って自由に模様を作り、それを切り取って葉を作る。 | 3 | 作品提出 |
| 8 | 特別展示室 風神雷神 | 風神雷神図屏風 (俵屋宗達) | 風神雷神図屏風(俵屋宗達筆)を教科書の図版で鑑賞し、感想や意見を発表しあって作品の見方を深める。 | 1 | |
| 9 | 気持ちを伝えるデザイン | ハサミ、カッター | 刃物の使い方。はさみとカッターでいろいろな形を切る。 | 4 | 作品提出 |
| 10 | 気持ちを伝えるデザイン | ハサミ、カッター、ケント紙、色紙 | 飛び出すカードを作る。基本的な仕掛けの作り方。 | 6 | 作品提出 |
| 11 | 気持ちを伝えるデザイン | ハサミ、カッター、ケント紙、色紙 | 飛び出すカードを作る。自分の発想を生かして、飛び出すカード制作のアイデアをまとめる。 | 6 | 作品提出 |
| 12 | 気持ちを伝えるデザイン | ハサミ、カッター、ケント紙、色紙 | 飛び出すカードを作る。自分の発想をもとにして紙を加工し、飛び出すカードを制作する。 | 4 | 作品提出 |
| 1 | 色の世界 | スケッチブック | 色彩の理論、三原色、補色などを学ぶ | 3 | 作品提出 |
| 2 | 色の世界 | スケッチブック | 色彩の理論、三原色、補色などを学ぶ | 3 | 小テスト |
| 3 | 色の世界 | スケッチブック | 色彩の理論に関するテスト。 | 2 | 小テスト |

7 課題・提出物等

・手のデッサン ・水彩 ・飛び出すカード

8 担当者からの一言

一年生は、まず身の回りの物をスケッチし、美術の基礎的な力である観察力を身につけるところからスタートします。また、飛び出す絵の制作では、自分のアイデア、発想を生かした制作もしていきます。授業の50分という時間は制作をするには短い時間ですが、集中して取り組んでください。(担当 安田洋)